



平成 28 年度公開講座の 実施について

研修部



1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会では、一般の方を対象に情報通信エンジニアリング事業について、ご理解をより深めていただく事を目的に、無料講座を開催しています。

平成28年度は、総務省主催の平成28年度「第32回情報通信月間（5月15日～6月15日）」に合わせて東日本研修センターと西日本研修センターで同日開催しました。以下、その概要を紹介します。

2. 東日本研修センターでの開催

- (1) 講座名「ブロードバンドサービスを支える情報通信設備の紹介」
- (2) 実施日 平成28年6月3日(金)
- (3) 参加者数 12名
- (4) 内容
 - i. 情報通信設備の概要について (写真1)



ブロードバンドサービスを支える情報通信設備の概要について、研修設備等を使って紹介しました。また、研修現場も紹介しました。

- ii. 光ファイバ接続体験 (写真2)

光ファイバを接続する体験をしていただきました。

- iii. 安全への取組紹介

情報通信エンジニアリング協会での「安全への取り組み例」として、以下の内容を紹介しました。

- マンホール内入孔前の酸素欠乏測定及び入孔体験 (写真3)
- 高所作業車の搭乗体験 (写真4)

3. 西日本研修センターの開催

- (1) 講座名「情報通信設備設置現場から学ぶ」
- (2) 実施日 平成28年6月3日(金)
- (3) 参加者数 12名 (設計コンサルタント会社、専門学校)
- (4) 内容
 - i. 情報通信設備構成の概要について (写真5)

情報通信設備の概要について、座学を行い、稼働中の情報通信設備を紹介しました。

 - ii. 情報通信設備の見学 (NTT西日本大阪中央ビル)

◇IP設備、伝送設備、MDF、電力設備

4. 参加者の主な感想

〈東日本研修センターでの講座〉

- ・情報通信設備の概要説明で、実習室を観る事ができて、工具測定器



写真1 情報通信設備の紹介



写真2 光ファイバ接続の体験





写真3 マンホール入孔前の酸素欠乏測定及び入孔体験



写真4 高所作業車の搭乗体験

類の整理整頓がしっかりできており、実習の前の基本が徹底していると感じた。

- ・光ファイバ接続では、細かい作業のため不慣れであったが、研修センター技術者の指導のもと、自らの手で接続に成功し達成感を得た。
- ・マンホール内入孔前の酸素濃度チェック、高所作業車への搭乗時の安全带装着等、各種安全に対する取組みを実施している事を知った。
- ・平日午後の開催で参加しやすかった。

〈西日本研修センターでの講座〉

- ・学校で勉強している教科書では、分からない稼働している情報通信設備を観る良い機会であった。このような講座を継続して欲しい。



写真5 座学模様

- ・情報通信設備の要件に、災害時の対策の説明が今後役に立つと思う。
- ・座学と稼働している情報通信設備の見学は、座学で勉強した知識が整理しやすいと感じた。

5. おわりに

参加者に座学・見学・体験を通じて、ブロードバンドサービスを支え

る情報通信設備について、理解をいただくと共に安全に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みについてPRができた。

来年度以降も参加者の方に喜んでいただけるような公開講座を実施していく予定です。